



観測史上最も遅い真夏日の記録を更新するほど長く続いた暑さがようやく去り、秋の気配を感じ始めた途端、次々と大きな台風襲われ、気象の変化に対するとまどいと自然の力の恐ろしさを強く感じずにはいられない日々となっています。台風の被害を受けられ、今なお大きな困難の中にある方々に心を寄せつつ「ひとりの小さな手 通信 第14号」をお届けします。

被災地でも、収穫間近のりんごが落ちてしまったりし、台風の被害を受けたとのこと、幼稚園や教会学校から何か少しでも支援できればと考え、被災地の方々と連絡を取りました。東日本大震災から2年半が過ぎ、今の私たちに何ができるのだろうか…考えつつも、つい立ち止まってしまうがちな日々ですが、小さなことでも自分にできることを見つけ、行動していきたいと思います。

夏休みに被災地を訪問した、ある高校生の感想から抜粋をご紹介します。

「前略……塩釜教会の方、仮設住宅で暮らしている方など、たくさんの方々のお話をうかがううちに、それぞれのつらい経験や思いは、今も続いているということに改めて強く感じた。皆さん、思い出すのもつらいことを、私たちのために丁寧に話してくださいました。

私の心に一番響いたのは、「震災で失ったものは多くあったけれど、その代わりに得たものも多かった。」という言葉だ。震災で、私たちが想像もできないほどたくさんの大切なものを失った方が、それでも、人とのつながりを感じ、人のやさしさをたくさん感じる事ができたことが喜びだというのだ。実際に目の前にいる人からこの言葉を聞いた時、私は改めて心にぐっとくるものを感じた。

私は、今、どれだけ自分に与えられたものに感謝し、自分のまわりにいる人のやさしさやあたたかい心を感じようとしているだろうか、そんな思いとともに、震災をきっかけに、私は自分が生きていることに感謝しながら日々を送りたいと思ったはずだ、ということを出した。……後略」

改めて、今あることに感謝し、毎日を大切に過ごしていきたいと思います。

「ひとりの小さな手」

ひとりの小さな手 何もできないけど

それでもみんなの手と手をあわせれば 何かできる何かできる

ひとりの小さな目 何も見えないけど

それでもみんなのひとみで見つめれば 何か見える何か見える

ひとりの小さな声 何も言えないけど

それでもみんなの声が集まれば 何か言える何か言える

ひとりで行く道 遠くてつらいけど

それでもみんなのあしぶみひびかせば 楽しくなる楽しくなる

ひとりの人間は とても弱いけど

それでもみんなが集まれば強くなれる強くなれる

陸前高田を訪ねて…

野毛山幼稚園の栄養士である高久先生が、陸前高田でほっとカフェを開いていらっしゃる佐藤さんを訪ねられたとのこと、実際に被災地の様子を目にしている思いを寄せていただきました。

この夏、野毛山幼稚園で支援をしている被災地、陸前高田のセラピスト佐藤さんを訪ねました。陸前高田は、私が幼い頃に家族で海水浴に行った高田松原があり、2年半前の津波で大きな被害を受けました。ニュースで度々、奇跡の1本松と報道されたところです。

震災前は、広い海岸に沿って植えてあった沢山の松が、たった1本しか残らなかったなんて…この川を津波が押し寄せ、町をなくしてしまったんだ…とテレビで何度も見たあの映像が頭に浮かびました。今も砂浜や海の家や食堂、駐車場など震災前の景色が思い出されます。

向かう途中、沢山の仮設住宅を見かけました。近くに新しいバイパスやコンビニ、ドラッグストアが建ち、ほっとするはずの田舎の風景に合わないなあと感じました。仮設住宅は、2年間の予定で建てられたのに、その期間が延長されているという話を聞き、時間だけが過ぎ、復興がなかなか進んでいないのだと知りました。

佐藤さんは、震災で壊滅的な被害にあった陸前高田の復興のために、普門寺に作った供養塔までの道しるべになるように羅漢を作る活動もしています。だまっても汗が流れる暑い中、いろいろな思いを持って一生懸命に石を彫っている方々を見て、私は何をすればよいのだろうか、と考えてしまいました。

私は、幼稚園の栄養士として、食べることの楽しさを子どもたちに伝えながら、自分も食に関わることを楽しく感じて毎日を送っています。被災地の方々が、楽しいと感じることが1つずつでも増えていくように、今のつながりを絶やさないようにしていきたいと思います。

高久 泉

佐藤さんから知陸前高田の知りあい農園の方が台風26号で被害をあわれたとお聞きし、落ちてしまったリンゴを送っていただきました。



丹精込めて育ててこられたリンゴが落ちてしまい、大変悲しい思いをされたことと思います。

リンゴ募金をしました。

台風で落ちたリンゴは、傷はついてしまいましたが、とても美味しいリンゴでした。



被害にあわれた方々のことを覚え、引き続き、私たちにできることをしていきたいと思います。

◇活動報告

○8/31 (土) のげやまフェスティバル

被災地に心を寄せて笑顔を届けよう!と小さな募金活動を行いました。
ご協力をありがとうございました。

義援金 11,350円

○7/17~10/31 現在 つながり募金活動

南相馬の福祉作業所南相馬ファクトリーに作製していただいた野毛山オリジナルデザイン「TSUNAGARI」バッジを通して募金活動を行っています。これは、ただ単にバッジを買うということではなく、被災地に心を寄せ、被災地の方々とつながり、一緒に私たちみんなの未来を考えていくという活動です。教育館1階のお部屋入口にバッジと募金箱を置いています。引き続き、よろしく願いいたします。

つながり募金 6,800円

○9/9(月)

- ・陸前高田へ 手作りパウンドケーキ 3本
 - ・南相馬ファクトリーへ 手作りパウンドケーキ 2本
- 22,500円

○10/13(日)

陸前高田へ 手作りパウンドケーキ 3本

○11月のチャリティーコンサート出演者の方々から義援金 30,000円
その他 義援金 5,000円

○リング募金 送金 陸前高田 熊谷農園へ 15,000円

◇今後の予定

第9回 東日本大震災復興支援 チャリティーコンサート

日時 2013年11月17日(日) 13:00開場 13:30開演
場所 野毛山キリストの教会 礼拝堂
入場料 500円

ピアノ連弾 & ハープ バレエ による組曲「くるみ割り人形」他

会場の設営が通常とは違うため、立ち見になる方もありますのでご了承ください。

この日にミニチャリティーバザーを開催の予定です。

チャリティーコンサート後、まとめて義援金をお送りしたいと思います。

発行 2013年11月5日
ひとりの小さな手プロジェクト
事務局 〒2200032 横浜市西区老松町30地
野毛山キリストの教会
野毛山幼稚園
根岸ひろみ 諏訪姿貴 山下綾子